

教育経済建設常任委員会行政視察報告書

富 永 悦 子

○千葉県佐倉市

「民間プールを活用した水泳授業の民間委託」について

【所 見】

平成 25 年から佐倉小学校・平成 26 年から西志津小学校で体育科における水泳指導について業務委託し、円滑な水泳指導を目的に実施している。

佐倉小学校では、プールを解体後、プールの授業を外部へ委託し、予算額は 468 万円となっている。小学校のプール指導時間は、年間 10 時間となっているが、今回の外部委託で、1 コマ 45 分×2 コマ+送迎バスの移動に 1 コマ分で 4 回の計画である。指導方法は、1 クラスを能力別に 3～4 グループに分け専門コーチと学校の先生で指導している。小学校でのプール開き前の清掃をプール底汚泥の放射能汚染を危惧して、現在学校職員だけで行っていること、指導においては天候に左右されること、小学校によっては外部からのぞき見の心配があること、維持管理費として濾過器保守点検水道代が 2,900 万円小規模修繕 400 万円で 1 校当たり 100 万円が掛かる。更に、新しくプールを建築するために約 1 億 2,000 万円の予算が掛かる。小学校施設の老朽化対策はプールについても同じことが言えるので、学校での教育的指導の観点と安全性の確保は第一であるが、ファシリティーマネジメント(土地・建物・設備といったファシリティを対象として、経営的な視点から設備投資や管理運営を行うことにより、施設に係る経費の最小化や施設効用の最大化を図ろうとする活動のこと)の推進を踏まえ、良い方法であると考え。

更に、事業実施後のアンケートでは、児童の 98%が水泳学習は楽しかった、85%が泳ぎは上手になったと答えている。保護者は、子どもが喜んでいる。来年も継続してほしい。充実した指導により泳力が身についた。プールやシャワーの水が学校よりも温かいと子どもが喜んでいと答えている。職員は、インストラクターが多く、安全の確保を十分に行うことができた。充実した施設や用具を活用することで十分な水泳指導ができた。天候に左右されず、計画通りに実施することができたと答えるなど、アンケート結果からも、担任の先生が指導するより、様々な点で外部委託にはメリットがあると考え。

課題として、プールの水を防火用水として使用できない件は防火井戸で対応している。更に、夏季休業中のプール開放は 34 校中 1 校しか実施していないので問題ない。とのことであるが本市においては検討しなければならない課題でもある

と考える。しかしながら、本市のプールも老朽化が進んでいる現状を踏まえ、公共施設総合管理計画に基づく公共施設の整備の中でプール事業の民間委託も有効であると考えます。

○千葉県我孫子市

「新規就農者支援事業」について

【所見】

我孫子市の農業は、農業を営む方の高齢化などによって、農家が急速に減少し、農地として利用されず放棄されている農地が増えている。我孫子市では新たに農業を始める方を増やすために農業を学ぶ機会を設け、農家になるための相談を受けるなど農地を守る努力をしている。新規就農を支援するために、我孫子市では以下の事業を実施している。

我孫子市の支援策支援内容

- 1 農地の斡旋を随時
- 2 農地の賃借料の補助を5年間、10万円上限で毎1年
- 3 農業研修農家先の斡旋を最長2年間で先進農家へ委託
- 4 農業機材、設備など整備費の補助を5年間50万円上限で毎5年
- 5 就農に関する研修費（経費）の補助を5年間10万円上限で毎5年
- 6 就農するまでの実践農場の提供として、最長2年間市民農園を活用

国の支援策（新規就農総合支援事業）の活用

青年就農者確保・育成給付金支援

- 1 経営開始型最長5年150万円毎1年
- 2 準備型最長2年150万円毎1年

※45歳未満で新たに農業を始めた場合、給付対象となる。

平成21年度以降、我孫子市では16人（1法人）の新規就農者が誕生している。新規就農者の声として、「就農し5年目となるが、夫婦で試行錯誤しながら楽しく農業をしている」・「家族の協力も得ながら気長に楽しく第2の人生を満喫しています」・「農業の難しさも体験し、そこがまた『やりがい』となり、人生の『生きがい』です。」と皆さん苦労をしながら、多くの支援を受けながら新しい挑戦をしている。

本市においても農業の後継者問題は深刻であり、新規就農者を探し、育成することは近々の課題であると考えます。